

# 生活単元学習指導案（略案）

平成26年11月14日（金）2校時  
 小学部1組 男子4人 計4人  
 場所 小学部1組教室  
 指導者 ○○○○(CT) ○○○○(ST)

## 1 単元 「でかけよう2」

### 2 本時の実際（2/24）

#### (1) 全体目標

バスの乗り方に関する動画を視聴したり、バスの車内を模した環境でバスごっこをしたりすることを通して、バスに対する興味・関心を高め、乗り降りの仕方について理解することができる。

#### (2) 評価規準

育てたい力	評価規準	観点
自分づくり	① 水族館に行くためにバスを利用することを理解している。 ② バスを利用するために必要な物（パスカード）や乗り降りの仕方を理解している。	【知識・理解】 【技能】
関係づくり	③ バスごっこに興味をもち、活動に参加している。 ④ バスの乗り方、降り方を意識しながらバスごっこをしようとしている。	【意欲・関心・態度】 【思考・判断・表現】

#### (3) 個人目標

児童	個人目標
U. S (1年, 男)	バスの乗り方に関する動画やバスごっこを通して、バスの乗り降りの仕方に気付き、一人で乗り降りすることができる。
A. R (2年, 男)	バスの乗り方に関する動画やバスごっこを通して、バスの利用に興味をもち、教師や友達と一緒にバスごっこをすることができる。
K. M (2年, 男)	バスの乗り方、降り方の手順表を手掛かりに、乗り降りの仕方を理解し、バスごっこにおいて、手順を意識しながら乗り降りすることができる。
T. K (2年, 男)	バスの乗り方に関する動画やバスごっこの活動を繰り返すことを通して、バスの乗り降りの流れを理解することができる。

#### (4) 指導及び支援に当たって

##### 学習活動の概要と授業環境の工夫

本学級の児童たちは、前時に「でかけよう2」で水族館に行くことを決めたり、バスを利用することを確認したり、学習計画を立てたりする活動を通して、本単元に対する期待感を高めている。しかし、友達と一緒に公共交通機関としてのバスを利用した経験が少なく、不安な表情を見せる様子も見られている。そこで、本時は、バスの乗降車の仕方について、バスの乗り方に関する動画を視聴したり、手順表で乗り降りの確認をしたり【自分づくり】、バスごっこに取り組んだりする中で、楽しく乗降車の仕方を学習することで【関係づくり】、次時の車内でのマナーに関する学習につなげるようにする。

##### 教材・教具とのかかわりについて

バスの乗り方に関する動画は、教師が登場することで期待感を高めながら、乗り降りのポイントになる部分を静止画にしたり、平仮名やイラストを入れたりして、児童が乗降車の仕方を意識できるようにする。また、動画と関連付けた手順表で乗り降りの流れを確認できるようにする。バスごっこでは、児童がバスをイメージしやすく、全員が乗ることができる座席やICレコーダーの模型など、車内の様子を意識できるような環境設定を行う。車窓から見える景色の映像を前面に投影することでバスに乗っているイメージを作り出し、バスに対する興味を高め、乗降車の仕方や目的地（水族館）を意識できるようにする。

##### 人（友達や教師）とのかかわりについて

バスごっこでは、まず、一人ずつ乗ったり降りたりして遊ぶことで、友達の様子を手掛かりに乗降車の仕方を学ぶことができるようにする。友達の良かった点を、手順表を基に確認し、教師が具体的に称賛することで、より乗降車の仕方を意識できるようにする。次に、ペアで乗り降りをしたり、全員で乗り降りをしたりすることで、友達とバスに乗る楽しさを味わうことができるようにする。

##### 自分とのかかわりについて

バスごっこに繰り返し取り組み、乗降車を模擬体験する中で、手順カードを基にしたチェックボードを用いたり、教師や友達から称賛を受けたりすることで、学習を楽しんでいる自分や、少しずつできるようになっている自分に気付くことができるようにする。学習の振り返りにおいては、頑張ったことについてチェックボードや手順表などを用いて伝えたり、バスの乗り降りを実際に再現したりして発表することができるようにし、バスの利用に対する期待感や意欲を高めるようにする。

## (5) 実際

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (7分)	1 始めの挨拶をする。 2 前時の学習を思い出し、本時の学習について話し合う。 3 本時のめあてを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             バスにのるとき、              どうするのかな？           </div> 4 本時の学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CTとSTは、児童が授業の始まりを意識できるように、挨拶する児童への注目を促す。</li> <li>前時に使用した絵カードや写真カードを手掛かりに、前時の学習や本単元を意識できるようにする。</li> <li>前時の学習や学習カレンダー（学習計画）、前時に使用したバスの写真などを手掛かりに、本時の学習内容に気付くことができるようにする。</li> <li>バスに乗ったことがあるかについて、イラストや言葉で問い掛け、めあてを考えることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に使用した絵カードや写真（水族館、バス）</li> <li>学習カレンダー（学習計画表）</li> <li>めあてと対応したイラスト</li> </ul>
展開 (33分)	5 バスの乗り方に関する動画を見て、乗り方について話し合う。 (1) 乗り方について話し合う。 (2) 手順表で確認する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① バスカードをピッ（とする）。</li> <li>② 席に座る。</li> <li>③ 降車ボタンを押す。</li> <li>④ バスカードをピッ（とする）。</li> <li>⑤ 降りる。</li> </ol> 6 バスごっこをして乗り降りを模擬体験する。 ○ 玉江橋前バス停～水族館前バス停をイメージした環境の中で活動する。 (1) 一人ずつ行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>乗降の仕方を意識する。</li> </ul> (2) ペアで行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>友達と活動する楽しさを味わう。 U. S-K. M A. R-T. K</li> </ul> (3) 全員で行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>全員で活動する楽しさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CTは、乗り方に関する動画を見ながら、自然に出た児童の発言を取り上げ、バスの乗降車の場面を意識できるようにする。</li> <li>STは、児童が動画に注目できるように、児童の見え方を確認したり、A. Rが楽しさのあまり立ち上がった際に、「楽しみだね。」と児童の気持ちを受け止めつつ、席に座るように促したりする。</li> <li>CTは、動画視聴後、「バスの乗り方、どうする？」とイラストと言葉で問い掛け、児童の発言を引き出す。</li> <li>STは、児童が発問に戸惑っている様子が見られた際には、「バスカード」等、キーワードとなるような発言を積極的に行い、児童が、発問の意図に気付くことができるようにする。</li> <li>CTは、手順表を提示して、児童が乗降車の仕方を確認できるようにする。</li> <li>CT, STは、児童が友達の様子を見ることができるところに配慮し、活動を行うようにする。</li> <li>一人ずつ行う際は、児童の良かったところを手順表を用いて、具体的に称賛し、他の児童が乗降車の仕方を意識できるようにする。</li> <li>ペアや全員で行う際は、友達同士で楽しく活動しつつ、繰り返し取り組むことができるようにする。</li> <li>STは、A. RやK. Mが困っている様子が見られた際に、指差しや身体ガイド、チェックボード（個人用）を用いて、指導・支援する。</li> <li>CTは、児童が活動に取り組む中で、乗降車を意識できていない姿が見られた際には、もう一度、手順表を確認したり、STのモデルに注目を向けたりして意識できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスの乗り方に関する動画</li> <li>テレビ</li> <li>パソコン</li> <li>手順表（写真、文字入り）</li> <li>バスカード</li> <li>降車ボタン</li> <li>チェックボード</li> <li>バス車内模型</li> <li>スクリーン</li> <li>プロジェクター</li> <li>運転手用帽子</li> <li>児童用バスカード</li> <li>バス停模型</li> <li>長椅子2</li> </ul>
終末 (5分)	7 本時を振り返る。 8 次時の予告を聞く。 9 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習をめあてや手順表、チェックボードで振り返り、自分ができたことをみんなの前で発表したり、CTが具体的に称賛したりすることで、達成感を味わうことができるようにする。</li> <li>CTは、本時の学習を確認すると共に、バスの車内でのマナー（きまり）があることを伝え、児童の期待感を高めることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてイラスト</li> <li>手順表</li> <li>チェックボード</li> <li>花丸カード</li> <li>児童写真</li> <li>きまりイラスト</li> </ul>

## (6) 評価

バスの乗り方に関する動画を視聴したり、バスの車内を模した環境でバスごっこをしたりすることを通して、バスに対する興味・関心を高め、バスの乗り降りの仕方について理解することができたか。